

日中建築住宅産業協議会訪中団報告

当協議会は5月に、樋口会長を団長、矢野副会長を副団長とする訪中団において、大連・北京を訪問しました。会員企業46社、97名のご参加をいただき、事務局及び支援スタッフを含めると総勢119名の大規模な訪中団となりました。

- 日程：5/16（水） アイリスオーヤマ様工場見学、大連市政府との会食
5/17（木） 大和ハウス工業様不動産開発物件視察
大連から北京へ移動、中国住宅都市農村建設部との会食
5/18（金） 「日中住宅産業会議」開催
「日中住宅モデルプロジェクトに関する協力意向書」締結
5/19（土） 北京市内視察、帰国（関空、成田、羽田）

アイリスオーヤマ様の工場見学

関西空港からの便と成田空港からの便、そして大連で合流した団員合わせて91名が大連経済開発区輸出加工区にあるアイリスオーヤマ様の大連アイリス生活用品有限公司を訪問しました。



アイリスオーヤマ様は、1996年3月に大連経済開発区の保税区に進出し、その後輸出加工区に展開。現在中国には大連に6社、蘇州に1社、合計7社が稼働中。アイリスオーヤマ中国グループは、従業員は5,700名で日本人駐在員は9名。

工場では、プラスチック・金属・木材・紙など様々な素材を取り扱い、生産される商品のカテゴリーもLED照明・家具・電気製品・園芸用品・学校机に至るまで多岐にわたり、約12,000アイテムの商品が製造されています。

大和ハウス工業様開発物件視察

2日目の午前中は、大和ハウス工業様が開発中の物件を視察しました。工事現場へは大型バスが入れないため、ホテルから6台の小型バスに分乗し、現場視察も6班に分かれて説明を受けました。



開発会社：大連大和中盛房地產有限公司（大和ハウス工業；50%、大連中盛集団；50%）
敷地面積：156,440 m²（1期 98,700 m²、2期 34,300 m²、緑地面積 23,440 m²）

第1期概要：延床面積 259,560 m²。住宅販売戸数 2,124 戸、商業施設 2 棟、小学校 1 棟、幼稚園 1 棟。

第2期概要：延床面積 236,670 m²。サービスアパート約 1,800 戸、商業・オフィス施設 61,400 m²、その他共用部 34,270 m²。



「日中住宅産業会議」

日本側から 100 名、中国側は 120 名が参加。会議においては、国土交通省佐藤技監、中国住宅都市農村建設部の齊副大臣の立会いのもと、樋口会長と中国不動産協会の劉会長により、「日中住宅モデルプロジェクト建設に関する協力意向書」に調印がなされました。これにより、今後、日中双方の官民が一体となって共同で住宅モデルプロジェクトを推進してまいります。



調印式に引き続き、日中双方各 4 社による住宅建設における課題や取り組みについての発表がありました。各社・機関の発表テーマは次の通り。

日本側：

- ① TOTO 株式会社；「TOTO GREEN CHALLENGE とグローバル展開」
- ② パナソニック株式会社；「天津エコシティ（中新天津生態城）での取り組み」
- ③ 住友林業株式会社；「住宅の工場生産化の状況と住宅の内装、長寿命・省エネ住宅」
- ④ 一般財団法人ベターリビング；「日本住宅工業化の発展」

中国側：

- ① 北京市住宅都市農村建設委員会住宅保障弁公室；「中国の住宅工業化に関する技術需要」
- ② 緑地集団；「グリーン産業化の模索と実践」
- ③ 中国建築標準設計研究院；「公共賃貸住宅建設と標準化設計」
- ④ 博洛尼旗艦裝飾裝修工程（北京）有限公司；「工業化内装付き住宅の研究の実践」

報告の詳細は、会報誌「日中建協 NEWS」No. 198 号 2012 年 6・7 月号を参照下さい。